

「第2回さが探究プレゼン大会」運営業務及び新聞広告制作・掲載業務委託仕様書

1 業務名

「第2回さが探究プレゼン大会」運営業務及び新聞広告制作・掲載業務委託

2 目的

佐賀県立大学（仮称）は課題解決型学習を重視していることから、高校の探究学習と連携を図ること等を目的として、高校等における「総合的な探究の時間」等の授業で学習した内容を校外で発表する機会を提供する「第2回さが探究プレゼン大会」を開催することとし、本大会の開催に係る運営業務を委託する。

加えて、県立大学の高大連携に関する取組の周知及び関心の喚起を目的として、「第2回さが探究プレゼン大会」に関する新聞広告の制作及び掲載を委託する。

3 委託期間

契約締結の日から令和8年3月31日（火）まで

4 イベント概要

（1）開催日時：令和8年3月17日（火） 13時～17時（受付：12時～）

※時間は参加チーム数に応じて変更となる場合がある。

（2）参加者：学生 約26グループ（1グループあたり1～5名程度）

引率教員

一般観覧者（保護者等）

（3）審査員：県立大学の検討に係る専門家チーム（計3名）

（4）会場：

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）ホール

※会場は県で予約済み。

※9時～12時は準備及び司会者リハーサル、13時～17時は本番、18時～22時は撤収作業を想定。

※施設利用料や空調、照明、音響、プロジェクター等の附属設備利用料は委託料に含むこと。また、その他必要な機材等は、受託者が手配すること。

（5）内容：

・希望する学校を第一部と第二部に半分に分け、上記時間内で計2回実施予定。

（第一部）13時00分～14時45分

（第二部）15時00分～16時45分

・発表者1グループごとに5分程度で発表を行い、各グループに対して専門家チームが

講評を行う。

- ・各部ごとに「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」を選定し、発表を行う。
- ・賞の選定は、専門家チームが行う。

※委託内容に審査員（専門家チーム）の旅費、謝金及び当日対応は含めない。

5 運営業務内容

（１）各学校の申込受付及び調整

- ① 各学校からの申込を受け付け、県と協議のうえ、各校の参加部を調整する。
- ② 参加通知（各校がどちらの部に参加するか等）を各参加校に連絡する。

※申込受付は、受託者が準備するウェブフォーム等で行うこととし、取得する情報等については県と協議のうえ決定すること。

※申込受付期間：令和7年11月中旬頃～令和7年12月中旬頃（予定）

（２）各参加校との事前調整及び事前連絡

各参加校の担当者との事前調整及び事前連絡を行う。

<事前調整項目>

- ・発表者（氏名、学年、人数等）
- ・発表テーマ
- ・使用機材、発表用資料データ（当日持ち込みか、事前提出か）
- ・発表方法（動画を流す、特殊な演出があるか 等）
- ・その他必要な事前調整全般

<事前連絡>

- ・集合時間及び集合場所
- ・駐車場及び駐輪場の場所
- ・その他必要な事前連絡全般

（３）開催準備及び当日の運営

開催に際し必要な準備及び当日の運営の全般を行う。

<事前準備>

- ・全体の運営計画の作成
- ・進行台本作成
- ・投影に必要な機器の準備
(投影用パソコン1台以上、HDMI ケーブル、HDMI パソコン切替器（4台以上用）等)
- ・発表用資料等の投影準備
(発表用資料は、発表者が当日持ち込んだパソコン等をスクリーンに投影する場合と、事前に発表者から提出されたデータを、受託者が準備するパソコンでスクリーンに

投影する場合を想定している。事前提出の場合は、提出されたデータが正しく投影できることを確認すること。)

- ・司会者の手配
- ・会場及びアバンセホールスタッフとの調整（設営、附属設備の使用、当日進行等）
- ・本大会タイトルや賞を発表するためのスライドやBGMの準備
- ・当日の運営に必要な物品（審査員用のお茶等を含む）の調達
- ・その他必要な準備及び調整全般

＜当日運営＞

- ・会場設営（会場前方に、イベント名称を記した吊り下げ看板は設置不要。）
- ・資料投影等の会場テスト
- ・発表者の受付及び説明等
- ・観覧者の入場誘導
- ・進行管理（発表者の誘導、投影データ切り替え対応、発表時間等の管理を含む）
- ・記録写真撮影
- ・会場撤去
- ・本大会に関する問合せ対応
- ・その他必要な対応全般（審査員が各発表につけた点数の集計等）

（４）事業実施体制等

- ・県や各参加校等との調整等が想定されることから、事業を計画的かつ効果的に実施できるよう統括責任者を１名配置し、事業全体の進捗管理を行うこと。
- ・また、事業を滞りなく遂行できる体制を敷くこと。

（５）参加者等からの問合せ対応

電話やメール等の手段により、本大会に関する参加者等からの問い合わせに対応すること。

（６）賞状の作成及び納品

- ・「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」を受賞した学校に贈呈する賞状を作成し、納品すること。
- ・賞状は各学校につき１枚とし、１つの賞につき３～４校を想定。
- ・県が準備する賞状用紙に筆耕をすること。
- ・文章や構成等は県と調整をすること。
- ・規格 A3大（438×315 mm）

(7) 記録用 DVD 等の作成

本大会当日の様子を動画で撮影・編集し、DVD にて納品すること。

① 動画撮影

- ・本大会当日の映像を撮影する。ステージ全体及び、発表者及び講評者の様子を撮影すること。
- ・スクリーンの投影内容が分かる映像を撮影すること。

② 動画編集等

- ・場面転換のシーン等、不要なシーンをカットすること。
- ・各部門や発表校のタイトル、講評者名等、必要な箇所にテロップを入れること。

③ DVD の作成及び納品

- ・編集した動画データを DVD に書き込むこと。
- ・本大会の参加校の枚数及び県保管用（1 枚）を作成し、納品すること。
また、MP4 形式のデータを納品すること。
- ・DVD 本体の表面に、本大会タイトル、日付等を印字すること。

(8) 本大会の採録、新聞広告制作・掲載

- ・本大会の採録を行い、新聞広告の制作及び掲載を行う。
- ・新聞広告の制作及び掲載の仕様等は以下のとおりとする。

掲載媒体：佐賀新聞及び西日本新聞（佐賀版）

掲載回数：1 回

掲載面：佐賀新聞は社会面（または地方面）を指定

掲載時期：令和 8 年 3 月 2 8 日（土）または 2 9 日（日）を想定。

※掲載日は上記を希望するが、県と協議のうえ決定すること。

規格：全 5 段、色はカラーとする。

掲載内容：「第 2 回さが探究プレゼン大会」の開催目的や、当日の様子等を想定している。

内容の詳細については県と協議のうえ決定すること。

取材：当日の様子取材や写真撮影、発表者や観覧者へのコメント等取材すること。

デザイン：県民の興味・関心を引き、期待感を与えるデザインとすること。

また、既存の県立大学パンフレット（別添）のデザインと調和のとれたデザインとすること。

6 成果物等

受託者は、次に掲げる成果物を指定する部数ずつ期限までに納めるものとする。

- ① 委託業務完了届及び実績報告書 1 部
- ② 本業務において作成した資料等
- ③ 上記 5（6）で作成した賞状

- ④ 上記 5（7）で作成した記録用 DVD 及び MP4 形式データ
- ⑤ 上記 5（8）で掲載した新聞記事（佐賀新聞及び西日本新聞） 1 部
- ⑥ 記録や取材の際に撮影した写真データ 一式
- ⑦ その他、成果品として提出を求めるもの

※ 紙で作成する成果物については、PDF 等電子データで納品すること。

※ ②～⑤に含まれる電子データについては、USB 等の記録媒体に保存して納品すること。

7 代金の支払方法

完了払

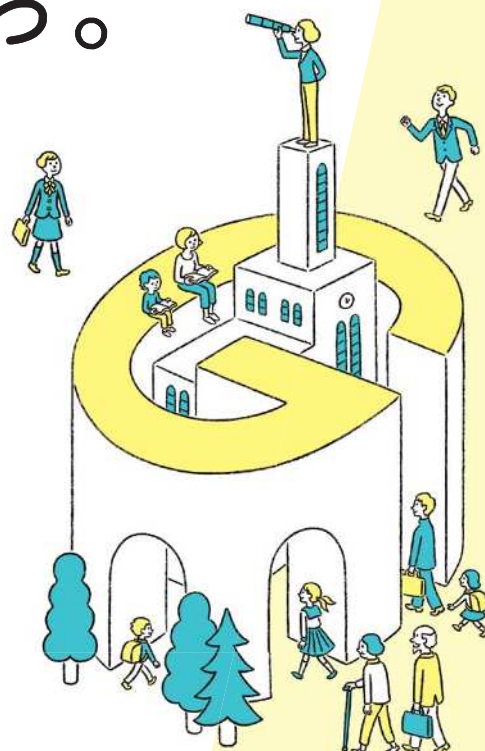
8 留意事項

- （1）本業務において、執行にあたり必要となる著作権や肖像権等の権利処理は、受託者が関係団体と協議のうえ、適切に対応すること。また、既存の県立大学パンフレットの素材を使用する場合は、当該パンフレットの制作者と著作権及び素材の使用料の取扱等について協議のうえ、適切に対応すること。
- （2）受託者が、本業務委託により新たに制作した制作物の著作権（著作権法第 21 条から第 28 条に定めるすべての権利を含む）は県に帰属するものとする。
- （3）業務の全部もしくはその主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならないこととする。また、主たる部分以外の業務などを第三者に委任し、又は請け負わせる場合は、あらかじめ書面による県の承諾を得ること。
- （4）個人情報の重要性を認識し、個人情報を扱う者の倫理及び良識ある判断に基づき、個人情報の管理を徹底し、個人情報の漏洩等のないように万全の注意を払うこと。
- （5）本業務を実施する上で、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた事項については、県と受託者が十分に協議し、対応するものとする。

佐賀県立大学 (仮称)

新しい時代をひらく学びを、 SAGAから。

佐賀県立大学(仮称)は、
佐賀県で学び、
佐賀県の未来を創造する
人材を育成する
教育拠点を目指しています。
この場所で、自らの翼を鍛え、
未来を見わたす
鳥瞰的な視点を手にいれよう。
まだ見ぬ佐賀県の
未来をともに。
これからの時代をつくる
みなさんが、
大きな成長を遂げられる
新しい大学を
構想中です。





県立大学で養成を目指す人材



不確実性を増す時代において、現状を是とせず、起業家精神を持って
チャレンジし続け、周囲に変革をもたらす人材 **“チェンジ・メーカー”**
を可能性豊かなチャレンジフィールドである佐賀において育成します

（卒業生の進路）

- ・企業のリーダー候補 ・後継者不足に悩む事業の承継 ・NPOでの主導的役割
 - ・県や市町の公務員 ・起業 ・地域のコーディネーター など
- 佐賀県をはじめとした幅広い分野での活躍が見込まれます

県民

佐賀県
（仮）

研究
機関

etc

大学



目指す姿

外部との連携によるプロジェクトを重視

様々なプロジェクトに挑戦し、
“日本一プロジェクトが生まれる大学”を
キーワードに、“チェンジ・メーカー”を育成



学びの内容

理系分野（データサイエンス・情報）と文系分野（経営・マネジメント）の
両方を学ぶことができる理文融合型の大学

県全体を学びのフィールドとし、県内の企業、地域、団体などの
現場に入り、実践しながら学ぶ

大学の内外で実践と理論の学びを繰り返し、自ら課題を見つけ、
解決する能力を身に付ける **課題解決型学習（PBL）**



多様な主体が

立大学
(称)

企業

NPO

小中高

ともに成長

学生を育て

ALL佐賀で

教育の質を高めるための学外との連携



(県内学校との連携)

探究学習を軸として、県立大学と県内高校等の**高大連携**を推進
高校生の学びの意欲が増し、探究心あふれるものに

高校生や小中学生が**“ふだん使い”**できる環境を整え、
大学を身近に感じ、学びへの関心が高まる

(県内各界との連携)

県全体を学びのフィールドとするため、
県内各地に学生の活動拠点となるベースキャンプを設置

教員個人のネットワークに依存せず、学外との連携を
専門とする部署を設置し、**組織的にコーディネート**

企業等への伴走支援



行政・企業等にとっての**地域のシンクタンク機能**
(協働で政策を創り上げる、企業へのコンサルティングなど)

経営を担う人材の成長や企業価値の向上につながるよう、
大学と企業等との新しい関係づくりを目指す

設置場所

佐賀市八丁畷町
[現在の佐賀総合庁舎
敷地内]

佐賀駅から
徒歩15分

SAGA
サンライズ
パーク

○ 佐賀市文化会館
○ NHO佐賀病院

国道34号

機動隊

佐賀中部
保健福祉
事務所

佐賀商業高

佐賀年金
事務所

国道264号

至 佐賀駅

佐賀北
警察署

致遠館中・高

ゆめタウン
佐賀

開学時期 令和11年4月(予定)

佐賀県の学びの現状

子どもの割合が多い

この25年間
15歳未満の
子どもの割合

全国 **3** 位以内

全国で大学数は最少

全国の
大学数
約**800**
のうち

県内の大学数

わずか **2** 校

島根県と並び
全国最少

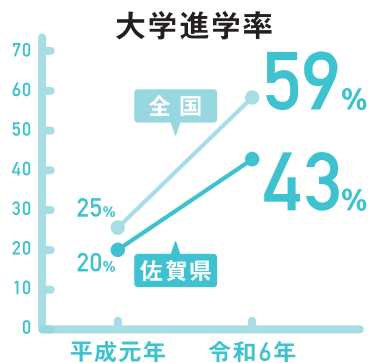
大学進学時に人材が流出

大学進学者の約85%

約 **3000** 人の
若者が

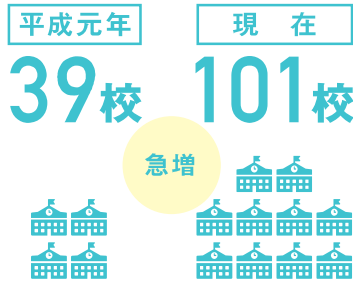
毎年大学進学時に県外へ

大学進学率は伸びている



公立大学は増えている

公立大学数



佐賀県には公立大学がない

公立大学がない県

4 県のみ
佐賀県を含む

他県では
栃木県、徳島県、鹿児島県

県内高校生に
とって
進路の選択肢が
増える

地域で
活躍する人材の
育成と確保に
つながる

大学設立による
様々な効果

企業や
他大学との
連携で
イノベーション
を創出

他大学や
小中高を含む
県内学習の
活性化



佐賀県立大学(仮称)は設置認可申請準備中です。内容は変更となる場合があります。

佐賀県

佐賀県 政策部 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1-59

TEL.0952-25-7494 FAX.0952-25-7577 e-mail:kendaiteam@pref.saga.lg.jp

この情報は2025年5月時点のものです。今後の検討の進捗により変更になる可能性があります。